

ハンガリー語の過去分詞形を使用した受動：

「太郎によって殺された花子」型の名詞句

野瀬昌彦

キーワード：ハンガリー語，受動，「太郎によって殺された花子」型，過去分詞

1. はじめに

ハンガリー語には受動の意味を持つ過去分詞が存在する。そのような過去分詞を使用して、例(1)のような名詞句が形成される。

- (1) Péter által meg-öl-ött Éva.
ペーテル 後 接-殺す-分 エーヴァ
「ペーテルによって殺されたエーヴァ」

本稿では、この(1)のような形式を「太郎によって殺された花子」型¹と呼ぶ。この形式は、通常受動形を持たないとされるハンガリー語において、明白な受動の意味を表す。特に、この形式がどのような受動の状況を述べるかを考察する。

2. 「太郎によって殺された花子」型の名詞句の形式と意味

「太郎によって殺された花子」型名詞句がどのような受動の状況を述べるかを考察するために、ここでは、必要な文法事項の説明を行う。

(1)の形式では、動詞が3人称単数形の過去形で不定活用の語尾”megöl-ött”で示されている。これは動詞の過去分詞である。過去分詞形は、能動と受動の両方の意味を持つことが可能である。特に他動性の高い動詞で受動の意味を持つ傾向がある（ここでは、”megöl-ött”が「殺された」と受動の意味を持つ）。以下に能動の意味が観察されやすい動詞の例(2)と、受動の意味が観察されやすい動詞(3)とを挙げる。本稿では特に受動の意味を表す過去分詞形を受動分

詞と呼ぶ。

(2) 主に能動の意味を持つ動詞（能動分詞）

kölcsönöz-ött	（借りた，借りられたという受動の意味解釈も可能）
alud-t	（眠った，能動のみ）
sétál-t	（散歩した，能動のみ）

(3) 主に受動の意味を持つ動詞（受動分詞）

meg-öl-ött	（殺された，殺したという能動の意も可能）
foglal-t	（占められた，「占拠された」や「部屋が満室である」）
készít-ett	（作られた，「既に作られた，既製の」）

(2)における他動詞”kölcsönöz-ött”や(3)の他動詞”megöl-ött”，”foglal-t”，”készít-ett”では，修飾する名詞が動作主であるか被動作主であるかにより，能動と受動両方の解釈がありうる．これらの(2)の自動詞の形式は能動のみの意味解釈，(3)の他動詞の受動の意味解釈を持つ過去分詞が過去分詞形の後に名詞を付加することで，名詞句を形成することができる．特に受動の意味を持つ過去分詞形の後に名詞が付加され，名詞句を形成する例(4)を示す．

(4) 「過去分詞＋名詞」の組み合わせ（受動の意味を持つ例）

ránt-ott csirke	（フライドチキン）
tölt-ött káposzta	（ロール（した，された）キャベツ）
elvesz-ett világ	（失われた世界，映画”Lost World”（ジュラシックパーク））

このように，過去分詞と名詞の組み合わせで，受動の意味を持つ名詞句を形成することができる．当然であるが，”alud-t ember”「眠った人」のように，能動の意味を持つ名詞句も形成可能である．「過去分詞＋名詞」の形式では，他動詞から形成される過去分詞が修飾する名詞が動作主であるか，被動作主であるかにより，能動と受動どちらかの意味を表すかが異なる．以下に，そのような能動と受動の名詞句の例を示す．

(5) 名詞句形での能動と受動の相違（cf. Csepregi 1991: 193）

a.	olvas-ott ember	（読んだ人（動作主）：能動）
	meg-öl-ött lány	（誰かを殺した少女（動作主）：能動）

- b. olvas-ott könyv (読まれた本 (被動作主) : 受動)
 meg-öl-ött lány (誰かによって殺された少女 (被動作主) : 受動)

(5)では、使用されている過去分詞はそれぞれ“olvas-ott”, “megöl-ött”であるが、修飾される名詞が動作主（例えば、本を読む人間）であるか(5a), 被動作主（例えば、読まれる本）であるか(5b)により、能動と受動の意味解釈（「読んだ」か「読まれた」）が分かれる。つまり、過去分詞形が能動であるか受動であるかを決定するのは、分詞形自身ではなく、修飾される名詞の意味役割（動作主であるか被動作主であるか）である。(1)のような受動の意味解釈を成す場合、修飾される名詞が被動作主である必要がある。

ここで、「太郎によって殺された花子」型の過去分詞の振る舞いを示す。実際の使用例を通じて、この形式が表す受動の状況を記述する。以下の(6)と(7)に、これらの形式がどのような文法関係を形成し、受動の意味を表現しているかを説明する。

- (6) Szerb-ek által ki-végz-ett
 セルビア人-複 後 接-処刑する-分
 koszovoi-ak 1999 január-ban.
 コソヴォ人-複 1999 1月-場

「セルビア人によって処刑されたコソボ人, 1999年1月」(HVG 1999 December 25: 76)

例(6)では、名詞句内に動詞“kivégezni”（処刑する）の過去分詞形“kivégz-ett”があり、過去分詞に関連する参与者に、動作主であるセルビア人と被動作主であるコソボ人が存在する。被動作主コソボ人が名詞句の主要部として現れ、動作主セルビア人は後置詞“által”を伴っている。そのため、過去分詞形“kivégz-ett”は受動の意味「処刑された」となり、名詞句全体の意味は「セルビア人によって処刑されたコソボ人」となる。

- (7) a régi mester-ek festmény-ei által díszít-ett
 その古い 職人-複 絵-所 後 飾る-分
 reneszansz székesegyház.
 ルネサンス カテドラル

「古い職人の絵によって飾られたルネサンス様式のカテドラル」(Az Utazó1999 Május: 22)

例(7)では、名詞「ルネサンス様式のカテドラル」を受動の意味を持つ過去分詞形"díszít-ett"「飾られた」で修飾している。動作の動作主となる「古い職人の絵」が後置詞"által"と共に現れている。そして、「古い職人の絵によって飾られたルネサンス様式のカテドラル」という受動の意味を持つ名詞句となる。この場合、受動の意味が修飾される「ルネサンス様式のカテドラル」が被動作主に相当する。

(6)と(7)の「太郎によって殺された花子」型名詞句で、実際に受動の意味を表すのは名詞句内に現れる過去分詞形" kivégz-ett", " díszít-ett"である。つまり、過去分詞形こそが受動の意味を持つ要素なのである。しかしながら、過去分詞形単体では能動と受動両方の意味解釈の可能性がある。そういうわけであるから、過去分詞形が受動の意味解釈を持つためには、動作主と被動作主の存在と降格された動作主と主要部になった被動作主という文法関係が必須となる。結果的に、「動作主によって何々された被動作主」という人称的な受動形が構成される。人称的であるというのは、具体的な動作主が名詞句内において示され、後置詞"által"と共に現れることを意味する。

「太郎によって殺された花子」型名詞句で着目すべき点は、過去分詞と被動作主の組み合わせに加えて、動作主が"Péter által"という後置詞と共に現れている点である。そして、(1)の意味は「ペーテルによって殺されたエーヴァ」となり、具体的な動作主によってなされたという、「人称的な」受動の意味を表す。動作主ペーテルが"által"「によって」という後置詞と共に現れ、過去分詞形と被動作主エーヴァを修飾している。この"által"という後置詞は、「によって」という意味を持つが、これは古体形の受動接辞を使用した古い形式の受動文（現代ハンガリー語では非文）において、動作主を標示するために使用されていた（例文(8)参照）。

(8) * A levél a postás által át-ad-atik.

その 手紙 その 郵便配達人 後 接-与える-受

「その手紙がその郵便配達人によって配達される」(Magyar Grammatika 2000: 88)

受動文(8)において、後置詞"által"が行為の動作主である「郵便配達人」と共に現れる。つまり、「a postás által」「郵便配達人によって」は、文法関係において「降格された動作主」に相当する。

3. 「太郎によって殺された花子」型名詞句が表す受動の状況

「太郎によって殺された花子」型名詞句が伝達する受動の状況について考察する。まず以下の(9)に、動作主や被動作主が現れない形式と、過去分詞形の前に否定詞“nem”を置く形式を作る。

(9) a. ?Meg-öl-ött Éva

「殺されたエーヴァ／殺したエーヴァ」：動作主が現れない形式

b. *Péter által meg-öl-ött

「ペーテルによって殺された」：被動作主が現れない形式

c. *Péter által nem öl-ött meg Éva

「ペーテルによって殺されなかったエーヴァ」：動作を否定する形式

これは「太郎によって殺された花子」型名詞句において、動作主や被動作主の参加者が省略可能かどうか、そして、受動の動作を表す過去分詞形で、動作のキャンセル（否定）が可能かどうかを調べたものである。(9a)は、動作主“Péter által”「ペーテルによって」を省略した形式である。この場合、修飾される参加者エーヴァに関して、「(誰かを)殺したエーヴァ（動作主）」という能動の解釈と「(誰かによって)殺されたエーヴァ（被動作主）」という受動の解釈両方が可能となる²。そのため、(9a)が必ず受動の意味解釈を持つとは言えない。次に(9b)では、名詞句の主要部であるエーヴァを省略した。この場合、「ペーテルによって殺された」という受動の意味解釈がなされるが、被動作主が省略されることとなる。これは名詞句としては不完全であり、非文となる。最後に(9c)では、過去分詞形の前に否定詞“nem”を挿入した。これは「ペーテルによって殺されなかったエーヴァ」という意味を表現するように作成した例であるが、容認不可である。これは、実際なされた行為を名詞句内で否定詞を使ってキャンセル出来ないことを意味する。少なくとも、「ペーテルによって殺されなかったエーヴァ」の状況をハンガリー語で表現する際、「太郎によって殺された花子」型名詞句は使用されない。

過去分詞形が表す動作に関して、さらに分析を行なう。以下の例(10)では、能動文「ペーテルがエーヴァを殺した」と過去分詞形の「ペーテルによって殺されたエーヴァ」を対照する。能動文の動詞部分及び、過去分詞形の部分に動作の様態を表す副詞“lassan”「ゆっくりと」と、時の副詞を使用して語彙的な手段で進行相の意味解釈を与える“tegnap 2 óra óta”「昨日の2時以来」という時間表現を挿入するテストを行う。

- (10) a. Péter meg-öl-te Évát lassan.
 ペーテル 接-殺す-過3単 エーヴァ-対 ゆっくりと
 「ペーテルがエーヴァをゆっくり殺した」
- b. *Péter által lassan meg-öl-ött Éva
 ペーテル 後 ゆっくりと 接-殺す-分 エーヴァ
 「ペーテルによってゆっくり殺されたエーヴァ」
- c. Péter tegnap 2 óra-óta olvas-ta a könyv-et.
 ペーテル 昨日 2 時-以来 読む-過3単 その本-対
 「昨日の2時以来ペーテルはその本を読んでいた」
- d. ?Tegnap 2 óra-óta Péter által olvas-ott könyv.
 昨日 2 時-以来 ペーテル 後 読む-分 本
 「昨日の2時以来ペーテルに読まれていた本」

(10a)の能動文では, "lassan"「ゆっくりと」という動作の様子を表す副詞を付加することが可能である. その結果, 能動文(10a)は「ゆっくりと殺した」という行為を述べている. 名詞句(10b)では副詞"lassan"を付加できない. これは, (10b)で受動分詞が表現するのは, すでに完了した行為であるため, 副詞"lassan"「ゆっくりと」でもって名詞句内で動作過程での様子を表すことができないからである. 次に, 進行相の意味解釈についてであるが, 能動文の(10c)「昨日の2時以来読んでいた」という進行相の解釈は容認可能である. しかし(10d)の名詞句にこの「昨日の2時以来」を入れた例は, 容認不可能ではないにしろ, 不自然に聞こえる. これは, 過去分詞形"olvas-ott"が進行相の解釈を許すのが難しいことを意味する.

「ゆっくりと」を意味する副詞との共起が不可である点と, 進行相の解釈が不自然という点から, 「太郎によって殺された花子」型名詞句において, 過去分詞形が動作そのものを表さないと考えられる. 過去分詞形が表現するのは, 動作ではなく, むしろ完了した状態または出来事である³. そのため, (9c)のような否定詞でもって動作をキャンセルすることが出来なかったり, 進行相で動作の継続を表現できない. ここで, 「太郎によって殺された花子」型名詞句は, 完了した受動の動作の状況と被動作主を結びつける表現であることが判明した.

4. 議論

現代ハンガリー語では, 古体形の受動文(8)は容認不可となる. その代わりに, 他の文法形式でもって受動の意味を伝達する手段が存在する. それは以下で紹介する3人称複数形動詞

や結果相構文の用法である。ここでは、それらの受動を表す手段と「太郎によって殺された花子」型の形式を対照させ、その違いを明らかにする。(11)では、「泥棒が車を盗んだ」という能動文(11a)に対して、受動の意味を持つと考えられる表現3つを示す。

- (11) a. A tolvaj el-lop-ta az autó-m-at.
 その 泥棒 接-盗む-3 単過 その車-所-対
 「その泥棒が私の車を盗んだ」(能動文)
- b. El-lop-ták az autó-m-at.
 接-盗む-3 複過 その車-所-対
 「彼らが私の車を盗んだ：私の車が盗まれた」(3人称複数形動詞)
- c. Az autó-m el van lop-va.
 その車-所 接 コピュラ 盗む-副
 「私の車が盗まれてしまった」(結果相構文)
- d. A tolvaj által el-lop-ott az autó-m.
 その 泥棒 後 接-盗む-過-分 その 車-所
 「泥棒によって盗まれた私の車」

(11a)は通常の能動文で、以下の(11b-d)に受動の意味を持つ表現を作成した。(11b)は、動詞の屈折部分を3人称複数形にすることで、不特定または不明の動作主の動作を表す。その結果、「私の車が盗まれた」という非人称の受動の意味を持つ。(11c)は、コピュラと副動詞形からなる結果相構文である。これは副動詞形が結果相の解釈となり、「車が盗まれてしまった」という受動の動作の結果を表す。(11d)は本稿が扱う「太郎によって殺された花子」型で、意味は「泥棒によって盗まれた私の車」となる。(11b-d)はいずれも受動の意味を持つという点で共通しているが、各々で違いが存在する。3人称複数形動詞の場合、着目すべき点是不特定の動作主の動作が、結果相構文では結果の状態が、それぞれ受動の意味解釈に関与している。(11b,c)の両者はいずれも動作主不明の受動である。一方で(11d)は過去分詞形を使用することで完了した動作を表し、加えて動作主「泥棒」が“a tolvaj által”と後置詞を伴って現れる人称的な受動である。つまり、動作主が後置詞と共に現れ、過去分詞形が完了した状態を表す点がこの形式の受動の特徴である。そういう点で、動作主不明の(11b, c)とは明らかに異なるが、(11d)のみが名詞句内でのみ成立するという制限が存在する。

最後にハンガリー語の「太郎によって殺された花子」型とほぼ同じ形式がフィンランド語にも存在することを指摘する。それは第3不定詞形を使用した動作主分詞の用法である。

(12) フィンランド語の動作主分詞

Kalle-n maala-ma talo.

カッレ-属格 塗る-第3 不定詞形 家

「カッレによって塗られた家」(White: 247)

(12)の動作主分詞形では、動作主カッレが属格で標示され、動詞に過去分詞ではなく第3 不定詞形“maala-ma”が使用されている。(12)の形式の意味は通常「カッレによって塗られた家」となる。ハンガリー語の「太郎によって殺された花子」型とは、動作主の標示及び分詞の形式が異なるが、意味特徴の点では共通部分をなしていると言える⁴。

5. 結論

ハンガリー語では、過去分詞を使用して「太郎によって殺された花子」型名詞句を形成することができる。この形式は受動の意味を持つ。名詞句の内部で「動作主、被動作主、そして受動の意を持つ過去分詞」を持つ点で、受動態や受動形が未発達なハンガリー語の中で、理想的な受動構造（人称的な受動形）を実現している。

この型名詞句が表す受動は、動作そのものではなく、完了した状況や状態である。この形式では、被動作主が名詞句の主要部となり、この主要部が過去分詞により修飾される関係となっている。過去分詞形が受動の意味を持つために、後置詞“által”で標示される動作主と名詞句の主要部に動作の影響を受ける被動作主という2つの参加者の存在が必要となる。

注

1. 日本語は受動形を持つ言語であるが、ハンガリー語の形式と同様の名詞句を形成するとき、受動形「れる、られる」をそのまま使用する。

- (i) a. 太郎が花子を殺した
- b. 花子が太郎によって殺された
- c. 太郎によって殺された花子

日本語に(ic)の受動を意味する名詞句の形式が存在する。ハンガリー語には(ia)のような能動文に対して、(ib)のような受動文が存在しない。それにも関わらず、(ic)の受動の意味を持つ名詞句の形式が存在する点が興味深く、考察する必要がある。

2. 後置詞を伴う動作主を除いた文において、語順を変更することで受動の意味解釈が可能な場合がある。

(i) Az autóm ellop-ott. 「私の車が盗まれた」

”Ellop-ott az autóm” 「盗まれた私の車」という受動の過去分詞と名詞から成る形式を、(i)のように語順を逆転させることで、受動文のような働きを持つ場合がある。被動作主である”Az autóm” 「私の車」が主格を伴って現れ、”ellop-ott”は過去分詞形ではなく3人称単数過去の述語動詞である。

3. この点に関連して、影山(2001: 258)に日本語と英語の対照研究で「受身を含む複合語」という項での議論がある。日本語の「手作りのドレス」や英語の”a pen-written answer”は、結果状態を前景化し、動作を背景化する働きをすると主張している。特に英語に関して、受身の接辞”-ed”が「動作の背景化」や「動作状態の焦点化」の機能を果たすのは、ハンガリー語の例と類似している。さらに、日本語では、「*子供作りの小屋」「*職人焼きのピッツア」「*母親作りのドレス」のように、動作主主語は現れることができない。一方の英語では、受身化で動作主主語が降格して付加詞になって現れる、”child-constructed shelter, shelter constructed by a child”

4. 最新の調査において、ハンガリー語で過去分詞ではなく、副動詞を使った形式が観察された。

(i) Péter által megöl-ve Éva 「ペーテルによって殺されたエーヴァ」

この副動詞”megölve”を使用した名詞句形(i)は、特に結果相の意味を表現すると考えられる。

略号一覧

接	動詞接頭辞	所	所有接尾辞	単	単数形
対	対格	過	過去時制	複	複数形
与	与格	分	分詞形	1	1人称
場	場所格	受	受動接辞	2	2人称
後	後置詞	副	副動詞	3	3人称

参考文献

- Csepregi, Márta. 1991. *Unkarin kielioppi*. Helsinki: Finn Lectura.
- Dezső, László. 1988. Passiveness in Hungarian: with reference to Russian passive. In: Shibatani, Masayoshi (ed.). *Passive and voice*. Amsterdam/ Philadelphia: John Benjamins: 291-328.
- Groot, Casper de. 1989. *Predicate structure in a functional grammar of Hungarian*. Dordrecht: Foris Publications.
- Haspelmath, Martin. 1994. Passive participles across languages. In: Fox and Hopper (eds.). *Voice: form and function*. Amsterdam/ Philadelphia: John Benjamins: 151-177.
- 影山太郎. 1996. 「動詞意味論：言語と認知の接点」. くろしお出版.
- Mantila, Harri 1997. Suomen ja unkarin nominaalisten verbimuotojen kontrastiivista syntaksia ja semantiikka. *Hungarologische Beiträge* 9: University of Jyväskylä.

White, Leila. 1997. *Suomen kielioppia ulkomaalaisille*. Helsinki: Finn Lectura.

(東北大学大学院文学研究科 博士後期課程)

nosem@sal.tohoku.ac.jp

(フィンランド語要旨)

**Passiivin partisiippi unkarin kielessä: "Péter által megölött Éva" -tyypin nominilauseke
(Passive form with past participle in Hungarian: "Péter által megölött Éva" type NP)**

Masahiko Nose

Unkarin kielessä passiivirakenne on "Péter által megölött Éva" -tyypin nominilauseke. Tässä rakenteessa on agentti, kohde ja passiivin partisiippi, joka tarkoittaa passiivista. Tästä syystä tämä nominilauseke on passiivirakenne, vaikka tavallisesti sanotaan, ettei unkarin kielessä ole passiivista.